

定例会の内容を報告いたします

12月/3月定例会 市政報告

◆橋本たかしのプロフィール

生年月日 1978年10月20日 資格 ビジネスキャリア検定二級
 会派・役職 日本維新の会・芦屋市議団幹事長 ビジネス実務法務検定二級 <概要QR>
 所属委員会 民生文教常任委員会 個人情報取扱主任者
 クレジット債権管理士
 経歴 滝見幼稚園・滝見小学校 特技 テニス(インターハイ・インカレ出場)
 報徳学園中高・甲南大学経営学部卒業 釣り(大会入賞多数)、料理、
 〇1〜傑ジュエーシー(14年〜管理職) パピーウォーカー(現在二日目)
 23年 初当選(4249票、歴代最多得票) その他 情報発信
 連絡先 hashimoto531020@gmail.com / 090-8885-6054 (透知要) 芦屋市精道町7-6 3F ※SNSは日々更新中!!

◆令和8年度予算



一般会計 目的別歳出予算(概要)

区分	予算額(百万円)	前年度(百万円)	増減(百万円)	主な取組内容
総務	194億3,289,000	190,200,000	4,189,289	行政事務の効率化、市民サービスの向上
民生	7億5,101,000	7,500,000	11,001	子育て支援、高齢者福祉
教育	58億3,712,000	58,000,000	372,000	教育の質向上、施設整備
環境	31億2,222,000	31,000,000	222,000	環境美化、防災対策
健康	47億4,291,000	47,000,000	491,000	国民健康保険料のキャッシュレス決済導入
福祉	42億5,543,000	42,000,000	543,000	高齢者福祉、障害者支援
建設	18億4,741,000	18,000,000	741,000	道路整備、公園整備
その他	28億7,100,000	28,000,000	100,000	各種補助金交付
合計	493億8,000,000	493億0,000,000	8,000,000	

◆来年度予算のトピックス

分野	内容	予算額(百万円)	備考
教育	こども園が新しく開園!	300	福祉
	学校のトイレをリニューアル	410	都市政策
	教室のエアコンを更新	150	その他
中学校の給食が増えます!	250	福祉	
福祉	高齢者バス助成を見直し	100	都市政策
	終活の相談をサポート	5	都市政策
	市役所のあり方を見直し	22	都市政策
都市政策	地域の移動手段を充実	18	都市政策
	若い世代の転入を応援!	16	都市政策
	JR南地区の再開発を推進!	2,000	都市政策
その他	駅周辺のまちづくり始動	15	都市政策

◆行政視察について(議会運営委員会) テーマ:議会のオンライン化について

【1月22日 東京都墨田区】

委員会でのオンライン参加制度の他、YouTube配信や議会発言の字幕化など先進的な取組が進められていました。現役世代の多い墨田区は、議会においても家族看病や出産・介護時の利用を想定し実装されています。

【1月23日 茨城県取手市】

委員会のオンライン参加は進む一方で、本会議での一般質問は実施例がなく制度上の課題を確認しました。墨田区と同様にYouTube中継や字幕導入など、開かれた議会づくりの取組が進んでいました。

◆阪神水道企業団 議会報告

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市及び明石市の6つの市で組織された特別地方公共団体で、各市水道局に水道用水を供給しています。毎年、芦屋市を代表して芦屋市議会から1名選出され派遣されます。

◆令和6年度決算 評価: ○

営業費用を収益で賄えていることに加え、物価高騰の影響にも対応しながら収支改善に取り組んだ結果、約25億円の単年度純利益を確保しています。このような安定した財政基盤が、市民の皆さまに安心・安全な水道サービスを継続的に提供することにつながっている点の評価いたしました。

◆その他

- 災害対策として非常用発電装置をR9年度中に配置予定
- PFAS対策として国の基準値よりも厳しい自主基準を設定し検知体制を構築

【質問】 「直近三年の人口急減について」

日本社会が人口減少傾向にあるなか、芦屋市においてもそれは免れないとは考えますが直近10年間の人口統計をとると2023年から過去にない速度で人口が急減しております。住宅都市の芦屋市は市税が主な収入であり、人口数が市の財源を支配します。他市のような法人からの税収が難しいため、人口急減についてその要因と対策を確認しました。

【回答】 少子高齢化の進展と20代を中心とする就職時の転出の傾向はあるが、子育て世帯は転入増加の傾向は確認できている。過去にも200名を超える人口減少の年もあり、直近の減少も特異の事象によるものではないと考えている。人口減少を緩和するため、景観や地域イメージの向上に取組み、教育の質向上や住宅取得支援を進めていく。

【質問】 「潮芦屋の通行止め解除について」

潮芦屋の南端道路の閉鎖について行政判断の経緯を確認。また、宅地業者の配達効率低下や地域事業者の事業圧迫の懸念、住民車両が迂回を強いられることで、子供を巻き込んだ交通事故リスクの懸念を訴えました。更に開放に向けたスケジュール感にも触れ、大型商業施設の開発やマリーナ周辺の分譲が完了する今春を目途に対応するよう求めました。

【回答】 制限当初は居住者がおらず人が通れないため、暴走行為等の懸念を鑑みて市が判断した。道路開放においては、街が完成型に近づいていることから関係機関と協議を進めていく。

【質問】 「国民健康保険料のキャッシュレス決済導入について」

行政改革の一環として公金におけるキャッシュレス化が進められており、既に導入している分野(市税、庁内各種手数料等)に次いで国民健康保険料への導入を求めました。保険料金が高額であるため現金準備に手間がかかり、特に勤労世代や共働き世帯では非対面で完結するキャッシュレス決済のニーズについて市民サービス向上の観点からも必要性を訴えました。

【回答】 被保険者の利便性向上は固より収納率向上に資すると思う。26年度9月より総務省の地方税統一QRコードを活用したキャッシュレス決済が利用可能となることから27年度からの導入を目指す。

【質問】 「芦屋市のクマ対策について」

日本各地で相次いで発生しているクマ被害について、戦後最悪の被害件数(死者13名)となっており、昨年3月27日には兵庫県三田市でも子グマが確認されたことを受けて、芦屋市のクマ出没の危険性とその対策について確認しました。

【回答】 ツキノワグマの生息地は県北部であり、芦屋市に発生する可能性は少ないと思われる。クマが発生の際は県、警察および県友会と連携し、出没情報の周知と自宅避難等の注意喚起を行う。現時点では駆除の具体策までは県からは示されていない。

総括質問の主な内容 (3月定例会) ※動画はこちら⇒⇒

分野	質問内容	市回答	分野	質問内容	市回答
教育	通学に40分を超える地域でのスクールバスや学年や地域を考慮した自家用車通学を認める制度が必要ではないか。	検討せず	福祉 消防	障がい者の支援について、新片的なものではなく盲導犬や介助犬といった生活のパートナーを補助する考えはないか。	理解促進に努める
	いじめは「未然防止」だけでなく、発生していることを前提とした「検知」の制度向上が必要ではないか。	総合的な対策強化	福祉 消防	自主防災会育成事業補助金について、自治会とマンション管理組合で二重基準とならないように制度精査を求む。	相互で防災強化
都市政策	最終目標が「教育の質向上」である教育研究推進チームの成果共有は機能しているのか。	共有を一層強化	都市政策	JR南地区再開発ビルの芦屋市保有の公益施設について、ゼロベースで市民の意向活用について検討することを求む。	市民共同で推進する
	全国実施される給食完全無償化を行わず事務コストをかけて月500円請求業務を行う合理性はあるのか。	質の維持に必要	都市政策	阪神芦屋駅周辺の都市機能強化として、隣接市では既に完成している高集約事業方針について検討いただきたい。	調査は行う
その他	部活動地域展開について教育の一環として捉えるのであれば地域クラブもしくは保護者への補助が必要ではないか。	国や近隣市を参照	公営企業	累積欠損が135億円となる芦屋病院の経営については、持続可能性の観点からも抜本的な経営改革を求む。	最大限努力する
	国際文化住宅を宣言している芦屋市において、市民の国際化に関する不安についてどう整理しているのか。	相互理解を図る	行政改革	市役所北館の再整備については庁内業務だけに焦点を当てるのではなく、駅前周辺地域の活性化を考慮した計画を求む。	広い視野で進める

◆その他の活動 ※日々の活動はSNSにて発信中

身を切る改革として97万円を盲導犬・介助犬訓練所に寄付しました(累計寄付額254万円)

部活動の地域展開では民間企業や大学に働きかけ2団体立上げ(釣り、テニス)講師として指導者研修を受講しました。

障がい者連合会の互例会に参加し、自身の盲導犬育成の取組や視覚障がい者との意見交換を行いました。

潮芦屋海町の大型商業施設が4.22オープン

ドッグランが5月下旬にオープン